

神津島の火山活動解説資料（平成 26 年 8 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東（天上山の南西約 3 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、天上山山頂部に噴気は認められませんでした。

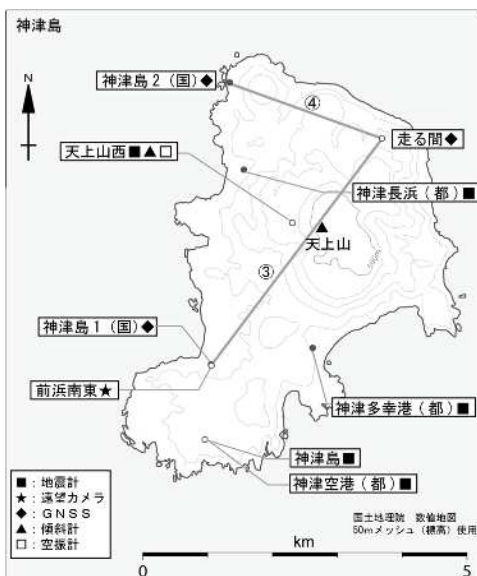
・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

神津島付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（都）：東京都

図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。



図 2 神津島 天上山山頂部の状況
（8 月 24 日、前浜南東遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 9 月分）は平成 26 年 10 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

【計数基準の変遷】	
A型地震	2010年10月1日(観測開始)～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内
BH型地震	
初期	2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上
変更	2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

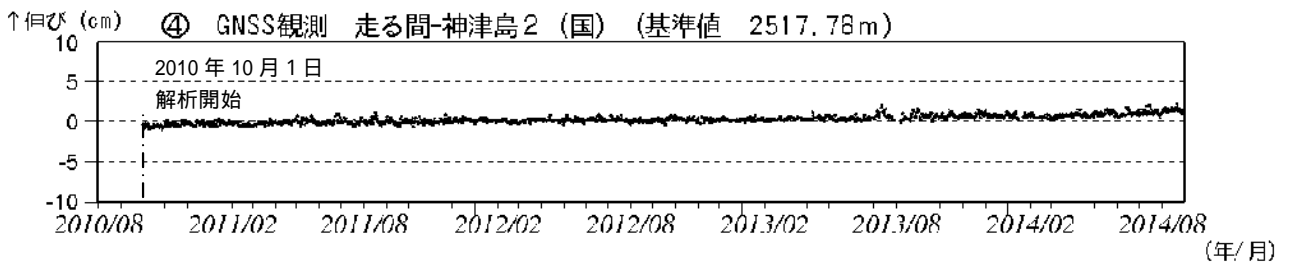
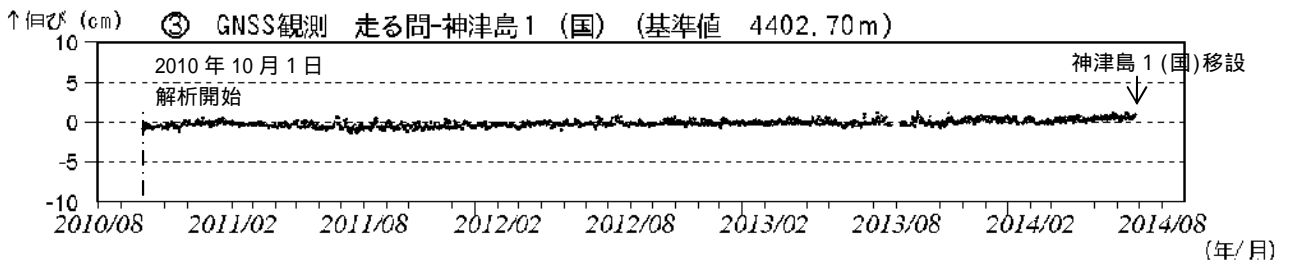
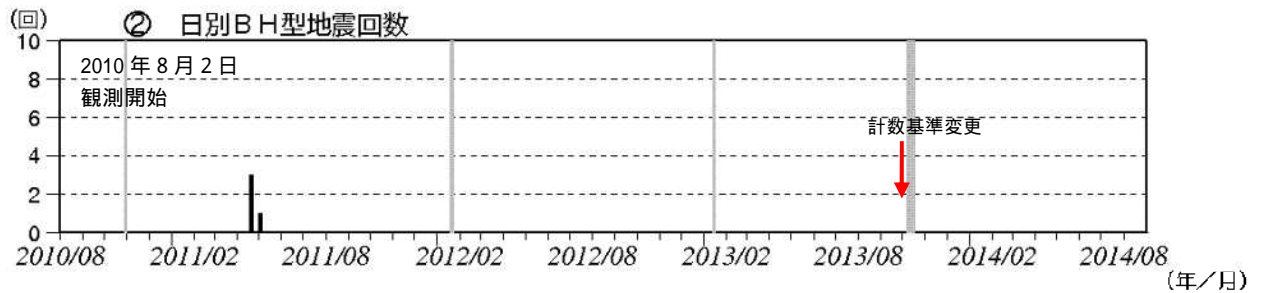
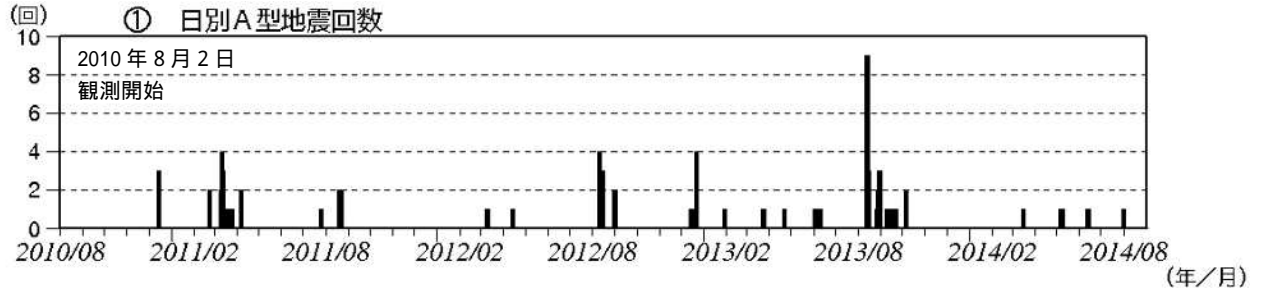


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2014年8月31日)

神津島周辺の日別地震回数

・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

・は図1のGNSS基線 に対応しています。

・グラフの空白部分は欠測を示します。

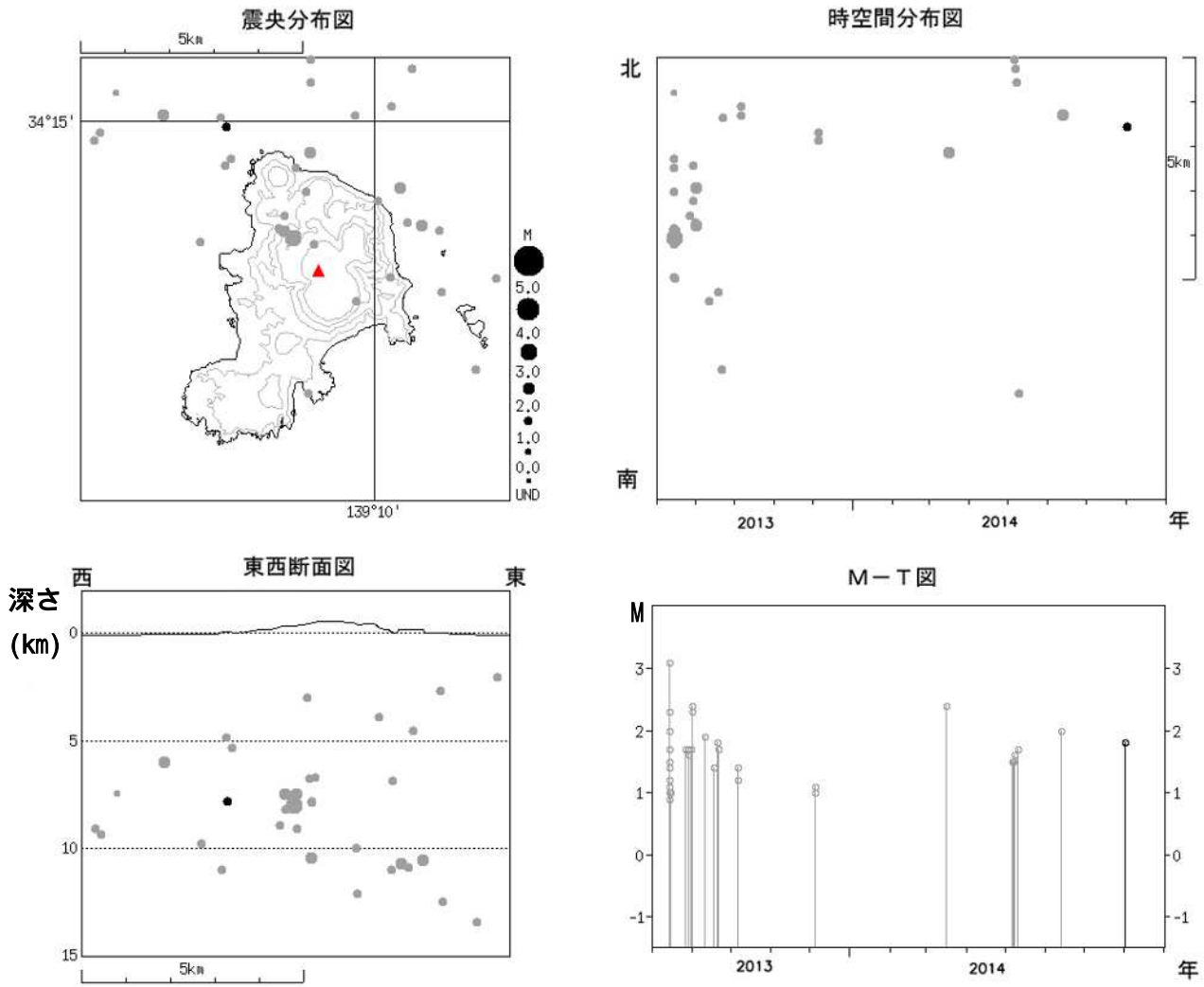


図4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2013年8月1日~2014年8月31日)
 : 2013年8月1日~2014年7月31日 : 2014年8月1日~8月31日
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。